



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 成学社 上場取引所 東
コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 山本 一之 (TEL) 06-6373-1571
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,688	3.2	657	△0.9	656	△1.6	376	△9.5
2023年3月期第3四半期	9,387	1.2	662	3.2	667	0.2	416	3.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 380百万円(△9.6%) 2023年3月期第3四半期 421百万円(5.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	67.91	—
2023年3月期第3四半期	74.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,710	3,435	35.4
2023年3月期	8,512	3,151	37.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,435百万円 2023年3月期 3,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 —	円 銭 8.50	円 銭 17.00
2024年3月期	—	9.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,257	4.6	729	2.4	714	△1.9	406	△3.6	73.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	5,876,000株	2023年3月期	5,876,000株
2024年3月期3Q	328,102株	2023年3月期	327,760株
2024年3月期3Q	5,548,025株	2023年3月期3Q	5,549,836株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」、中上級レベルの韓国語指導に特化した「開成アカデミー韓国語学校」等を運営し、幅広い教育及び保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,688,853千円（前年同期比3.2%増）、営業利益は657,193千円（前年同期比0.9%減）、経常利益は656,187千円（同1.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は376,742千円（同9.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①教育関連事業

例年ピークを迎える11月時点の在籍者数は、クラス指導部門が6,429人（前年同月比7.0%減）となったものの、個別指導部門18,441人（前年同月比1.9%増）、保育部門741人（同1.2%増）、その他の指導部門415人（同62.1%増）となり、グループ在籍者総数（直営教室に限る）は26,026人（前年同月比0.1%増）と、前年同月を上回りました。

売上高については、学習塾部門では、人件費等の教室運営コストの上昇を賄うために授業料を改定したこと、「個別指導学院フリーステップ」の塾生数の増加等により、売上高は増加いたしました。保育部門では、0歳児の園児数割合が減少したことによる補助金減少、行政による補助金の決定通知が例年より遅れていること等により、売上高は減少いたしました。その他の指導部門では、「開成アカデミー日本語学校」の学生数の増加及びオプション授業が堅調に推移したこと、子会社において学校法人からの受注が好調だったこと等により、売上高は増加いたしました。

費用面では、処遇改善のための給与改定等により人件費が増加したこと、冬期講習に向けた採用強化に伴い求人広告費が増加したこと、コロナ禍収束に伴い対面での行事等を再開したこと等により、セグメント費用は増加いたしました。

この結果、セグメント売上高は9,611,265千円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は691,562千円（前年同期比0.7%減）となりました。

②不動産賃貸事業

入居するテナントが増加したことにより、売上高は30,437千円（前年同期比2.0%増）となりましたが、建物価値維持のための修繕実施等により費用が増加し、セグメント利益（営業利益）は15,732千円（前年同期比8.8%減）となりました。

③飲食事業

ランチ、ディナーともに需要が堅調に推移したこと等により、売上高は47,151千円（前年同期比28.0%増）となりましたが、店舗の大規模修繕の実施により費用が増加し、セグメント損失（営業損失）は8,806千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）8,783千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から1,197,578千円(14.1%)増加し、9,710,531千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から1,025,060千円(31.3%)増加し、4,296,856千円となりました。これは主として営業未収入金及び契約資産が前連結会計年度に比べ1,067,370千円、その他に含まれる未収入金と同100,900千円増加し、現金及び預金が前連結会計年度に比べ141,779千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から172,517千円(3.3%)増加し、5,413,674千円となりました。これは主として有形固定資産が前連結会計年度に比べ90,172千円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が同48,975千円、差入保証金が同29,421千円、無形固定資産のその他に含まれる無形固定資産仮勘定が同18,307千円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末から913,833千円(17.0%)増加し、6,275,145千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から968,154千円(30.7%)増加し、4,121,161千円となりました。これは主として前受金が前連結会計年度に比べ527,904千円、短期借入金が同200,000千円、1年内返済予定の長期借入金が同183,497千円、未払法人税等が同53,669千円増加したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から54,320千円(2.5%)減少し、2,153,983千円となりました。これは主として長期借入金が前連結会計年度に比べ56,230千円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末から283,744千円(9.0%)増加し、3,435,385千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ279,650千円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2023年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,702,576	1,560,797
営業未収入金及び契約資産	1,178,626	2,245,997
商品	57,861	46,914
仕掛品	-	396
貯蔵品	14,603	13,387
その他	326,409	435,652
貸倒引当金	△8,282	△6,289
流動資産合計	3,271,795	4,296,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,361,422	4,490,194
減価償却累計額	△1,865,860	△1,995,657
建物及び構築物 (純額)	2,495,562	2,494,536
土地	1,107,259	1,107,259
その他	1,092,155	1,159,641
減価償却累計額	△897,914	△874,203
その他 (純額)	194,240	285,438
有形固定資産合計	3,797,062	3,887,234
無形固定資産		
のれん	15,534	11,210
その他	171,639	182,155
無形固定資産合計	187,173	193,366
投資その他の資産		
差入保証金	907,964	937,386
その他	348,956	395,687
投資その他の資産合計	1,256,921	1,333,073
固定資産合計	5,241,157	5,413,674
資産合計	8,512,952	9,710,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,221	94,496
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	823,912	1,007,409
未払法人税等	177,156	230,826
前受金	782,361	1,310,265
賞与引当金	226,452	48,868
その他	985,902	1,229,295
流動負債合計	3,153,007	4,121,161
固定負債		
長期借入金	1,615,179	1,558,949
退職給付に係る負債	7,412	7,522
資産除去債務	490,613	485,994
その他	95,099	101,518
固定負債合計	2,208,304	2,153,983
負債合計	5,361,311	6,275,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	178,349	178,349
利益剰余金	3,027,852	3,307,502
自己株式	△265,655	△265,687
株主資本合計	3,175,654	3,455,272
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△24,013	△19,887
その他の包括利益累計額合計	△24,013	△19,887
純資産合計	3,151,640	3,435,385
負債純資産合計	8,512,952	9,710,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	9,387,446	9,688,853
売上原価	7,345,004	7,578,179
売上総利益	2,042,442	2,110,673
販売費及び一般管理費	1,379,548	1,453,480
営業利益	662,894	657,193
営業外収益		
受取利息	2,406	1,193
受取保険金	211	6,759
為替差益	1,424	1,999
債務勘定整理益	12,433	-
その他	12,613	10,547
営業外収益合計	29,089	20,499
営業外費用		
支払利息	18,905	17,648
その他	6,068	3,856
営業外費用合計	24,973	21,505
経常利益	667,009	656,187
特別利益		
受取和解金	-	2,400
事業譲渡益	14,512	3,772
特別利益合計	14,512	6,172
特別損失		
減損損失	5,393	7,135
特別損失合計	5,393	7,135
税金等調整前四半期純利益	676,128	655,225
法人税、住民税及び事業税	314,548	327,788
法人税等調整額	△54,611	△49,305
法人税等合計	259,937	278,483
四半期純利益	416,190	376,742
親会社株主に帰属する四半期純利益	416,190	376,742

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	416,190	376,742
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,128	4,126
その他の包括利益合計	5,128	4,126
四半期包括利益	421,318	380,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,318	380,868
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	7,972,704	—	—	7,972,704	—	7,972,704
保育部門	1,041,630	—	—	1,041,630	—	1,041,630
その他の指導部門	306,444	—	—	306,444	—	306,444
飲食	—	—	36,823	36,823	—	36,823
顧客との契約から 生じる収益	9,320,779	—	36,823	9,357,603	—	9,357,603
その他の収益	—	29,843	—	29,843	—	29,843
外部顧客への売上高	9,320,779	29,843	36,823	9,387,446	—	9,387,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	920	16,567	—	17,487	△17,487	—
計	9,321,699	46,411	36,823	9,404,934	△17,487	9,387,446
セグメント利益又は 損失(△)	696,587	17,248	△8,783	705,051	△42,157	662,894

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,157千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,393千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	8,170,127	—	—	8,170,127	—	8,170,127
保育部門	1,039,561	—	—	1,039,561	—	1,039,561
その他の指導部門	401,575	—	—	401,575	—	401,575
飲食	—	—	47,151	47,151	—	47,151
顧客との契約から 生じる収益	9,611,265	—	47,151	9,658,416	—	9,658,416
その他の収益	—	30,437	—	30,437	—	30,437
外部顧客への売上高	9,611,265	30,437	47,151	9,688,853	—	9,688,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,315	16,579	—	17,894	△17,894	—
計	9,612,580	47,017	47,151	9,706,748	△17,894	9,688,853
セグメント利益又は 損失(△)	691,562	15,732	△8,806	698,487	△41,294	657,193

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△41,294千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において7,135千円であります。